

武漢事務所週刊ニュース（2014年8月30日～9月5日）

キャセイパシフィック航空及び香港ドラゴン航空の武漢－香港線 携帯強制オフ解除

9月4日 長江日報

今月15日から、香港ドラゴン航空の武漢－香港線に搭乗する旅客に対しては携帯の電源を強制的に切らせることをせず、「機内モード」に設定すれば良くなった。

キャセイパシフィック航空及び香港ドラゴン航空は香港民航処が携帯型電子機器使用条例を改訂したため、機内における一部の携帯型電子機器の利用時間を拡大した。9月15日朝7時55分から、旅客は離着陸時にスマートホンの電源を切らなくて済むようになった。ただし、機内モードに設定し、Wi-FiやBluetoothなどの通信機能をオフにしなければならない。

また、ノートパソコンのような大型電子製品は、離着陸時の電源を切らなければならないという。

海外航空会社の中には、すでに機内で携帯の電源を切らなくてよい会社もあったが、今回、武漢地区で初めて適用されることとなる。

武漢市の「キャッチフレーズ」と「ロゴマーク」投票終了

投票数1位は案1

9月4日 湖北日報

武漢市の「キャッチフレーズ」と「ロゴマーク」のインターネット投票は2日に終了し、投票者数は約81万人に達した。実行委員会は、3日に候補案1の支持率が最も高いと発表し、市民の皆様の温かいご支援・ご協力に心から感謝を表している。

武漢市は8月27日から9月2日にかけて、「キャッチフレーズ」と「ロゴマーク」それぞれ三つの候補案を発表し、インターネット投票による市民の意見を募った。

投票の結果、キャッチフレーズの支持率は下記のとおり。

- ①「武漢、毎日が違う」は41%
- ②「大武漢、毎日が違う」は31%
- ③「大江、大湖、大武漢」は28%

ロゴマークの支持率はそれぞれ46.2%、24.1%、29.7%となった。



「キャッチフレーズ」と「ロゴマーク」の候補案